



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.10.22 No.3480

運転士の健康と安全に関するアンケート調査 その1 (健康編)

日本産業衛生学会は、七二年の調査結果からも、運転労働者の労働条件は、極めて苛酷な状態におかれているとして、七四年

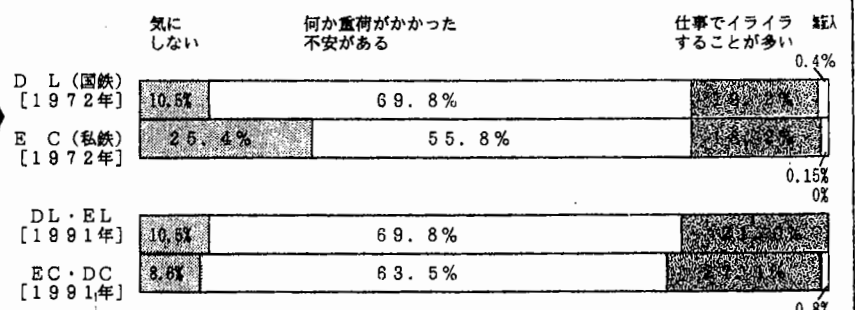
調査項目は、日本産業衛生学会が、一九七二年に、国鉄・私鉄の運転士を対象にアンケート調査を実施したものと基本的な同一項目としました。結果は、七二年の調査と比べても、現在の乗務条件が極めて悪化していることは明白です。

調査項目は、日本産業衛生学会が、一九七二年に、国鉄・私鉄の運転士を対象にアンケート調査を実施したものと基本的な同一項目としました。

調査項目は、日本産業衛生学会が、一九七二年に、国鉄・私鉄の運転士を対象にアンケート調査を実施したものと基本的な同一項目としました。

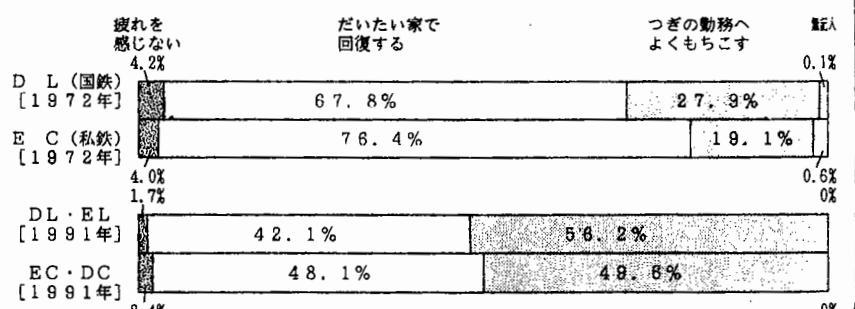
別表1

仕事についての感じ方 (%)



別表2

仕事による疲れ (%)



別表3

勤務の途中でとる仮眠の充足度 (%)

	仮眠時間が不測し、仮眠設備もわるい	仮眠設備はよいが、仮眠時間が不足する	仮眠時間は十分あるが仮眠設備がわるい	仮眠は十分とれている	仮眠はとる必要がない
DL (国鉄) [1972年]	56.0%	33.9%	6.5%	2.1%	0.9%
EC (私鉄) [1972年]	53.5%	28.9%	6.8%	4.1%	5.1%
DL・EL [1991年]	84.2%	15.8%	0%	0%	0%
EC・DC [1991年]	79.9%	14.4%	2.9%	0.8%	0.8%

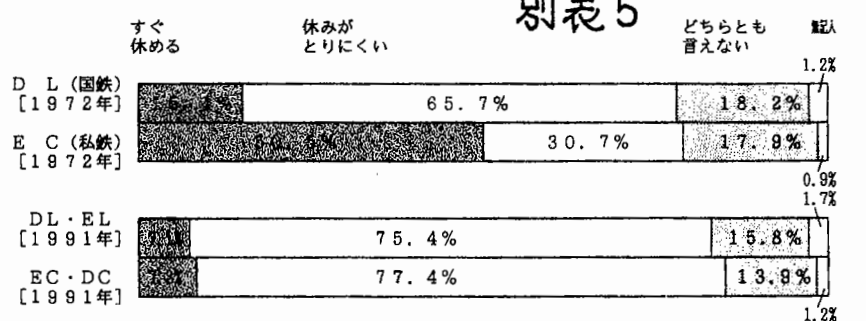
別表4

現在のからだの状態についての自覚症状訴え率 (%)

自覚症状	DL (国鉄) [1972年]	EC (私鉄) [1972年]	DL・EL [1991年]	EC・DC [1991年]
体がだるく疲れた感じがする	70.8	72.2	75.4	78.6
腰が痛む	45.5	32.2	42.1	59.0
下痢をしたり便秘したりする	50.0	54.5	66.7	63.1
肩がこる	66.0	58.9	61.4	68.8
目が疲れやすい	73.6	71.1	80.7	83.6
最近よく眠れないことがある	50.2	45.5	59.6	48.7

別表5

具合の悪いときの休みのとりやすさ (%)



仕事についての感じ方、疲れについて

貨物・旅客グループともに、九割を超す者が、「仕事でイライラすることが多い」「何か重荷がかかった不安がある」と回答している。

泊勤務での仮眠の充足度、体の状態についての自覚症状

(別表二)これも、七二年当時と比べて、極端に増加している。日常的に半数以上の者が疲れを次の勤務に持ち越し、九割もの者が、イライラし重圧を受けながら運転している。……これで安全が保てるはずはない。

の自覚症状訴え率では、別表四のとおり、疲労感、腰痛、下痢、便秘、目の疲れ、よく眠れない等、健康度をあらわす基本的な指標で訴え率が極めて高くなっている。

この報告は、労働者の外部団体である「労働科学研究所」も、「労働科学領域から報告しうる集約点とも言えるものである。報告から十年の歳月をさらに大きく経過したが、その報告内容は何ら新しさを欠くものではないとしている」

また、貨物グループで約五六%、旅客グループで約五〇%の者が疲れを、つぎの勤務にもちこす、現在の体の状態について

以上、回答結果を見てもわかるとおり、動力車乗務員の労働条件が極めて劣悪な状態の下におかれ、日々健康がむしばまれている状態にあることは一目瞭然である。(つづく)